

競技要項

1. 試合方法・試合時間

- Sリーグは平成27年度前期大会の結果に基づき、Aグループ（1、4、5、8位）とBグループ（2、3、6、7位）の2グループに分ける。
- 各グループで総当たり予選リーグ戦を行い、第2項に定める順位決定方法に従い順位を決定する。
- 上項で決定した順位をもとに下記組み合わせの順位決定戦を行う。
1位決定戦： A1位 vs B1位
3位決定戦： A2位 vs B2位
5位決定戦： A3位 vs B3位
7位決定戦： A4位 vs B4位
順位決定戦において、試合終了時に同点の場合は、サドンビクトリー方式によるGWSにより勝敗を決する。
- Uリーグは平成27年度後期大会の結果で入れ替えを行い、その後グループ分けしたDiv I～IIIそれぞれで総当たり戦を行い、第2項に定める順位決定方法に従い順位を決定する。
- 試合時間は、全試合とも正規15分×3ピリオド、練習・休憩5分間とする。

2. 順位決定方法

総当たりリーグ戦においては、勝ちを3点、引き分けを1点とし勝ち点の多いチームを上位とする。勝ち点が並んだ場合は、以下1)～8)の条件順で順位を決定する。

- 1) 勝ち数の多い順
- 2) 当該チームの対戦成績
- 3) 当該チーム同士（3チーム以上）の試合で得失点差の大なるもの
- 4) 当該チーム同士の総得点÷総失点の商が大なるもの
- 5) 全試合の得失点差の大なるもの
- 6) 全試合の総得点÷総失点の商の大なるもの
- 7) 全試合のペナルティータイム（分）の少なるもの
- 8) 昨年度の後期大会において順位が上位であるもの

3. 競技規則

東京都アイスホッケー連盟の定める補助規則（第4項）を除いて、原則として国際競技規則（※）による。
※今回のルール改正については、Uリーグでも今大会から適用とする。

4. 補助規則

- 4-1) 試合を棄権するチームは、試合開始日の前日17時までにその理由を連盟迄文書にて届ける事。（土・日の場合は運営委員まで。）その場合0-15の不戦敗となる。ただし、別に定める罰金は支払う事。
- 4-2) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合を没収試合とし不戦敗とする。
- 4-3) オールメンバー表は、開始30分前までに本部席まで提出すること。オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。（発覚次第退場とする）当該選手がポイント（ゴール・アシスト）をあげても無効となる。
当該選手がペナルティをおかした場合は代替選手がそのペナルティを受けるものとし、当該選手は退場とする。（背番号だけの間違いは発覚次第直ちに修正する事。ポイントは認められ、出場可能。）
- 4-4) 試合の実施は試合開始時までにゴールキーパー1名とプレーヤー5名若しくはプレーヤー6名、第2ピリオド開始までにキーパー1名とプレーヤー5名（Sリーグは8名）をミニマムとし、それ以下の選手数のチームは棄権したとみなし不戦敗とする。（キーパーが試合開始までにリンク上に居ない場合はプレーヤー6名で開始し、第2ピリオド開始時にリンク上に居なければ不戦敗とする。）怪我やゲームアウト等で最低人数を下回った場合は、その時点で不戦敗とする。
また、両チームが人数不足の場合は、両チームとも-15点とし、両チーム不戦敗とする。
- 4-5) 審判は、Uリーグの場合は他チームより社会人登録レフェリー1名を派遣し、当番チーム1・2から登録済みかつ年度内のクリニックに出席したラインズマン計2名を出す。
(Div Iのみレフェリーはレフェリー団よりの派遣)。
Sリーグはレフェリー団よりレフェリー（1名）・ラインズマン（2名）の派遣をする。

- 4-6) 当番チームはゴールジャッジ 2 名・ペナルティーアテンダント 2 名・タイマー 2 名・記録 1 名・アナウンサー 1 名 (計 8 名) が開始 30 分前に集合し、当番試合のオフィシャルを務める。
当番が 2 チームの場合はそれぞれが 4 名ずつで担当し、原則として当番 1 が本部席、当番 2 がゴールジャッジとペナルティーアテンダントを担当する。これに加え、S リーグでは、予め定められたチームからスーパーバイザー 1 名、U リーグでは各当番チームからラインズマン 1 名ずつの計 2 名を出す。
当番の肩代わりはトラブルの原因となりやすいので極力避けること。やむを得ず肩代わりする場合は、試合開始日の前日の 17 時までにはその理由を連盟まで文書にて届けること。尚、当番欠席により試合が行えなかった場合、または当番が 7 名未満の場合・遅刻の場合は別に定める罰金を支払う事。
(上記の様な当番の欠席・人数不足・遅刻があった場合、試合後当該対戦チームの部長名でその旨を FAX で連盟に報告して下さい。)
- 4-7) S リーグは試合の際に監督・コーチリストに登録された者の内の最低 1 名がユニフォーム・防具を着用せずにベンチ入りすること。
U リーグは当該試合のチーム責任者をオールメンバー表に記入し提出すること。
- 4-8) 全試合のゲームミスコンダクトペナルティ以上のペナルティに関しても、連盟のガイドラインに沿って処分を課すものとする。
- 4-9) S リーグはヘルメット・ユニフォーム・パンツ・ストッキングを統一すること。
U リーグはユニフォーム・ストッキングを統一すること。
- 4-10) S リーグは日本アイスホッケー連盟通達に従い、必ずマウスガードを装着するものとする。
U リーグでもバイザー着用義務のある選手 (1974 年 12 月 31 日以後生まれ) はマウスガードは必ず着用するものとし、その他の選手は可能な限り装着するよう奨励する。(平成 29 年度からは全選手の着用を実施する予定)
- 4-11) ベンチ内にいる選手は常にヘルメットを着用するものとする。控えの GK もケガ防止のためにマスクを着用することを奨励する。
- 4-12) 危険な防具を着用している選手は試合に出場することは出来ない。(特にエルボーを含め、防具はすべてユニフォームで隠れるようにすること)
- 4-13) 10 点差以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降のゲームタイムについては、ランニングタイムとする。
- 罰則) 監督会議・レフェリークリニック・当番に遅刻・欠席及び試合を棄権・未登録選手の出場及び連盟規約違反をした場合、罰金より無期限試合出場停止迄の罰則を課す。

5. 試合結果報告

- 各試合について、当該チームとオフィシャル (計 3 チーム) はそれぞれ個別に、都連 HP のスコア報告サイトに連絡をすること。
- 試合終了後現場から携帯で送信することが望ましいが、できない場合でも翌日には送信すること。
(他方からの情報で HP に結果がアップされた場合でも、正確を期するために必ず 3 チームからの結果連絡をお願いします。)